

2022

Interim Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2023年3月期・営業の中間ご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 中澤 宏
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2023年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。

さて、当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症対策や各種政策の効果もあって、経済社会活動の正常化が進んでおり、景気が持ち直していくことが期待されています。しかし、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが懸念されることや、円安等による原材料や燃料費の高騰などを

背景に、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

こうした中で、当社グループは、グループ長期ビジョンとして「課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する」を掲げ、2022年4月から中期経営計画『Go forward with Our Region』をスタートし、お客さまの新たな経営課題解決に向けてコンサルティング領域の拡大に取り組んでいます。特にDXの推進や環境分野への取り組みなどお客さまの経営課題解決に対する支援件数は着実に増加しております。

本誌では、2022年度中間期の業績に加え、中期経営計画の各種取り組みについてご紹介しておりますので、ご高覧いただきたく存じます。

「地域に根差した活動こそ原点である」との考えに基づき、地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の持続的成長への貢献を実現すべく、役職員一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年12月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
長期ビジョンと中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
株式のご案内	14

長期ビジョンと長期戦略

長期ビジョン | 課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する

ほくほくフィナンシャルグループは、長期ビジョンを実現するため「課題解決力進化」「経営基盤構築」「企業風土熟成」の3つの長期戦略を進めてまいります。

中期経営計画の概要

『Go forward with Our Region』 2022年4月～2025年3月

位置づけ | 長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

ほくほくフィナンシャルグループは、各ステークホルダー（地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等）の当社グループに対する期待・ニーズにしっかりと応えるため、課題解決力の強化やビジネスモデル変革に挑戦してまいります。

6つの重点戦略



重点指標

連結/2行合算	2022年度中間期末実績	2024年度(計画最終年度)	長期目標(10年後)
連結当期純利益	93億円	250億円以上	350億円以上
連結自己資本比率	9.61%	9%台後半	12%以上
OHR	59.44%	60%台前半	50%台
非金利収入比率 (非金利収入額)	16.64% (106億円)	16%台 (200億円以上)	18%以上 (250億円以上)
環境関連投融資実行額(累計)	906億円	2,100億円	7,000億円

※OHR、非金利収入比率(額)、環境関連投融資実行額は2行合算

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	2022年 9月期	前中間期比	2021年 9月期
経常収益	969	90	878
経常利益	145	△ 45	190
親会社株主に帰属する中間純利益	93	△ 38	131
自己資本比率	9.61%	△ 0.18%	9.79%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位:億円)

	2行合算		
	2022年 9月期	前中間期比	2021年 9月期
経常収益	904	107	797
コア業務粗利益	637	17	619
経費(臨時処理分を除く)	378	△ 21	400
コア業務純益	258	39	219
除く投信解約損益	251	38	213
与信費用	67	14	52
経常利益	153	△ 45	198
中間純利益	106	△ 39	145

(単位:億円)

	北陸銀行		
	2022年 9月期	前中間期比	2021年 9月期
経常収益	530	104	425
コア業務粗利益	345	10	335
経費(臨時処理分を除く)	201	△ 9	211
コア業務純益	144	19	124
除く投信解約損益	137	20	116
与信費用	81	57	24
経常利益	61	△ 62	124
中間純利益	42	△ 50	92
自己資本比率	9.36%	△ 0.13%	9.49%

当社における2022年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比90億円増加の969億円、連結経常利益は前中間期比45億円減少の145億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比38億円減少の93億円となりました。

連結自己資本比率は9.61%となりました。

2行合算では、経常収益は前中間期比107億円増加の904億円となり、中間純利益は前中間期比39億円減少の106億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前中間期比104億円増加の530億円となり、中間純利益は前中間期比50億円減少の42億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比2億円増加の374億円となり、中間純利益は前中間期比11億円増加の63億円となりました。

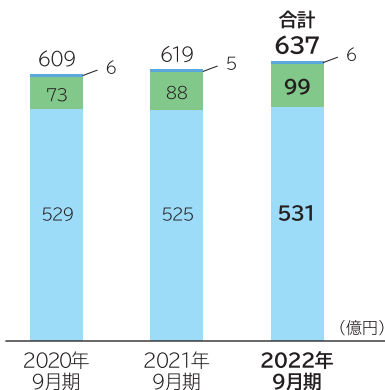
(単位:億円)

	北海道銀行		
	2022年 9月期	前中間期比	2021年 9月期
経常収益	374	2	371
コア業務粗利益	291	7	283
経費(臨時処理分を除く)	177	△ 11	188
コア業務純益	114	19	95
除く投信解約損益	114	18	96
与信費用	△ 14	△ 42	28
経常利益	91	16	74
中間純利益	63	11	52
自己資本比率	9.08%	△ 0.13%	9.21%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **531億円**

預け金利息、有価証券利息配当金の増加により、前中間期比5億円増加しました。

役員取引等利益 **99億円**

法人コンサルティング手数料の増加、ローン保険料・保証料の減少により、前中間期比10億円増加しました。

その他 **6億円**

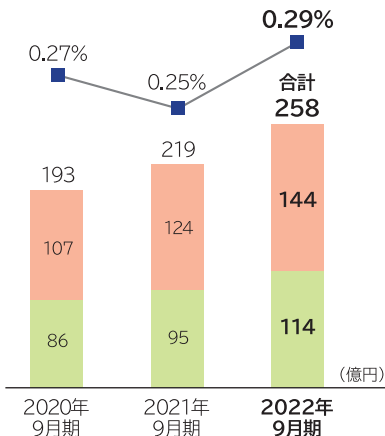
外国為替売買損益が、前中間期比1億円増加しました。

コア業務粗利益 **637億円**

上記の結果、前中間期比17億円増加しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

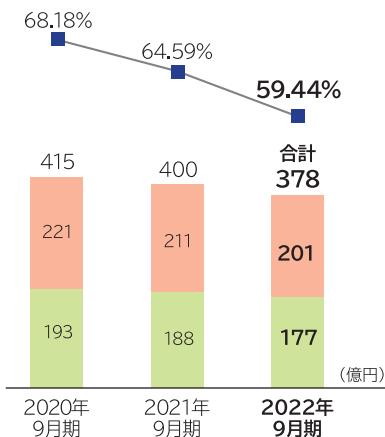


コア業務純益 **258億円**

資金利益、役員取引等利益の増加及び経費が減少したことから、前中間期比39億円増加しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

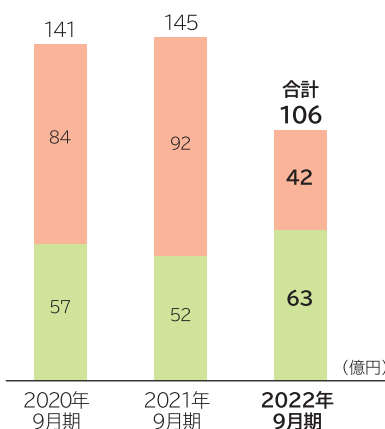


経費 **378億円**

引き続き業務効率化に取り組み、前中間期比21億円減少しました。

■ 中間純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



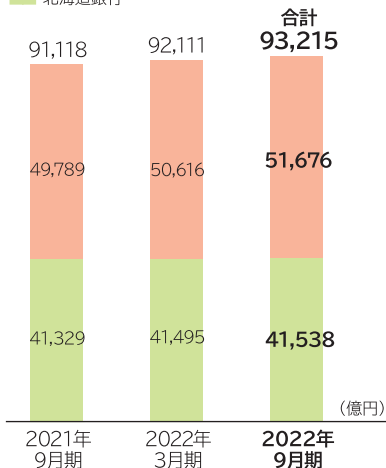
中間純利益 **106億円**

外国証券入れ替えに伴う国債等債券損益の減少や与信費用の増加により、前中間期比39億円減少しました。

貸出金・預金等の状況

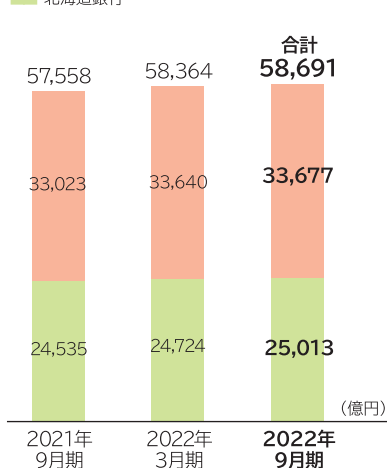
■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



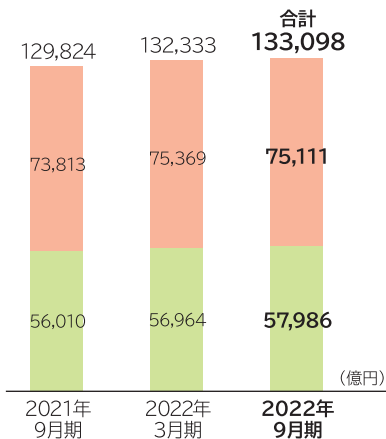
■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



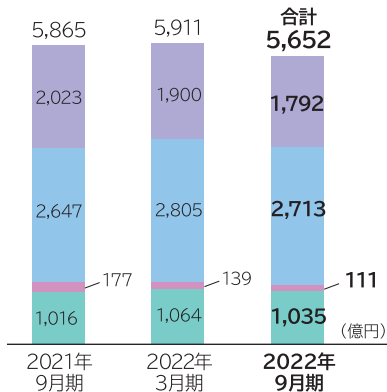
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



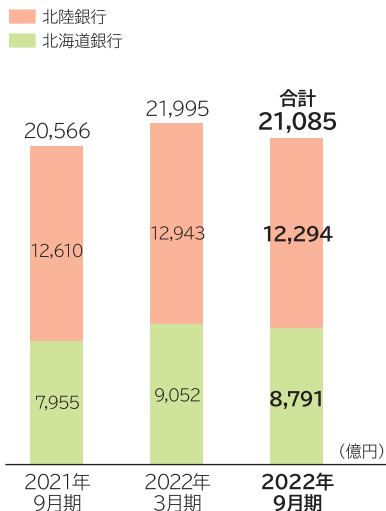
■ 個人向け投資型金融商品<2行合算>

公共債
投資信託
外貨預金
ほくほくTT証券



有価証券残高・健全性の指標

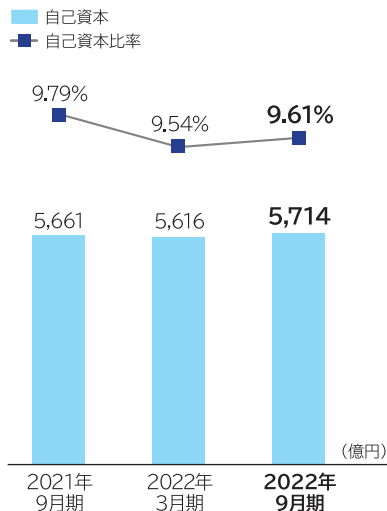
■ 有価証券残高<2行合算>



有価証券残高
2兆1,085億円

有価証券残高は、国債及び投資信託、株式の減少により、2022年3月末比910億円減少しました。

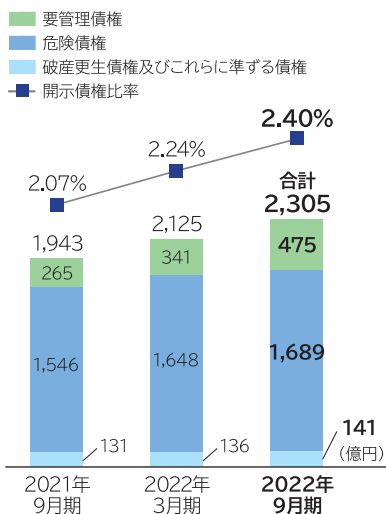
■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
9.61%

自己資本比率は、利益による剰余金の積上げにより、FG連結で2022年3月末比0.07ポイント上昇の9.61%となりました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権
2,305億円

2022年3月末比179億円増加しました。

開示債権比率
2.40%

2022年3月末比0.16ポイント上昇しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 128,770,814株
第1回第5種優先株式 75,212,000株

取締役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	中澤 宏	取締役(社外)	横井 裕
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥
取締役	坂本 嘉和	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	坂井 章	取締役監査等委員(社外)	小川万里絵

■ 従業員の数 兼務者74名

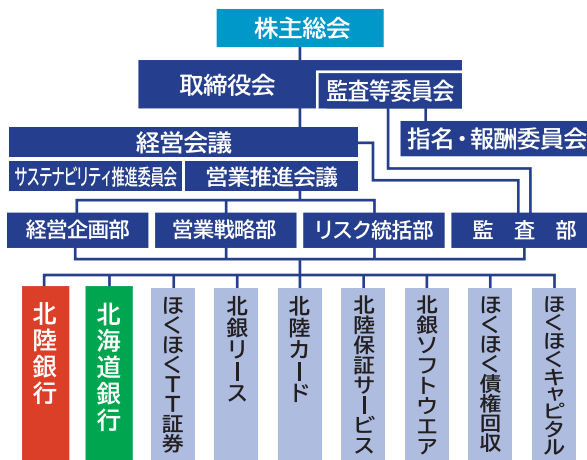
■ 設立日 2003年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、当社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。5名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等に関する意見の決定等を行います。
指名・報酬委員会	取締役・経営陣幹部の人事・報酬に関する事項への助言・関与等を行います。取締役3名以上、うち過半数を社外取締役で構成し、委員長は社外取締役の中から選定することで、独立性を確保します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
サステナビリティ推進委員会	グループのサステナビリティ経営の方向性や戦略、リスク管理について検討します。
営業推進会議	グループ子会社の営業の方向性や戦略、連携強化について検討します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図

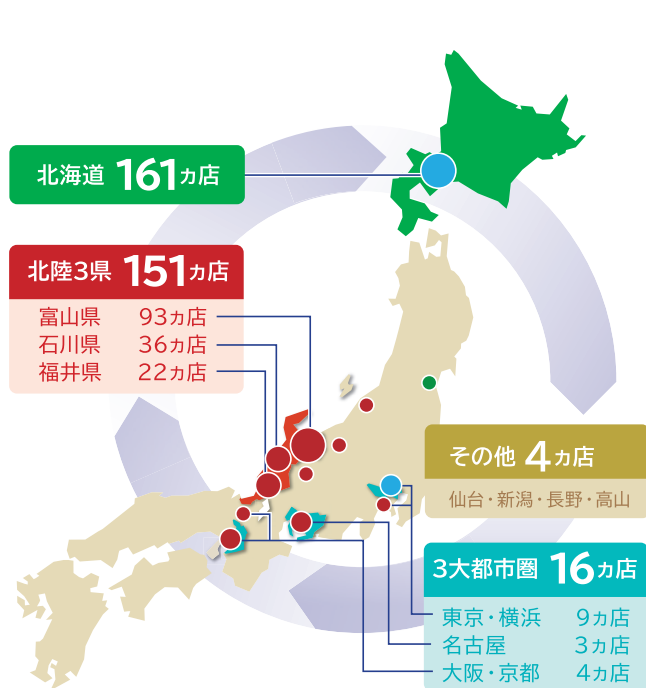


■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務などを行っています。
北銀ソフトウエア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

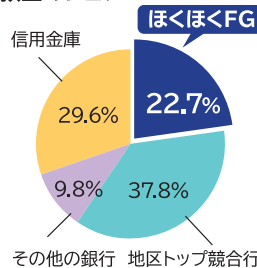
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域とお客さまの繁栄に貢献していきます。

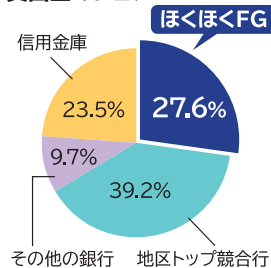


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

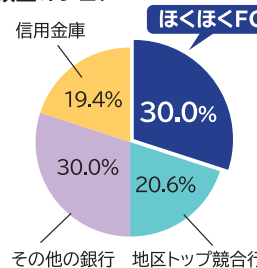


貸出金のシェア

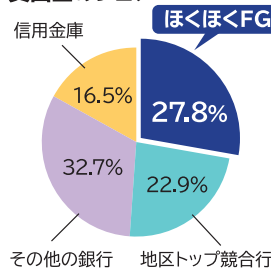


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2022年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」シェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

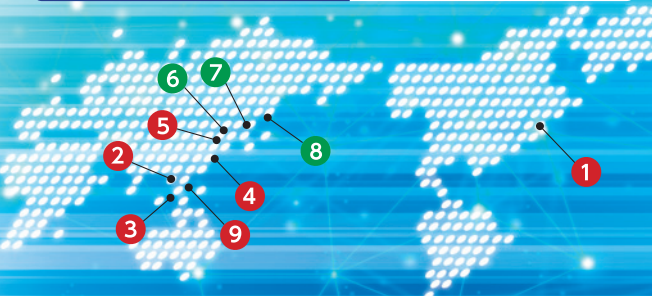
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② バンコク駐在員事務所
- ③ シンガポール駐在員事務所
- ④ 上海駐在員事務所
- ⑤ 大連駐在員事務所
- ⑥ 瀋陽駐在員事務所
- ⑦ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑧ ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ⑨ ホーチミン駐在員事務所

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しております。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

2019年4月1日



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 E S G ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する
	◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める
	地域における金融リテラシーの向上 S ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築 G ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 S ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める
	生産性向上に繋がる職場づくり S ◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む

E … 環境 S … 社会 G … ガバナンス



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!



持続可能な地域社会の実現

ほくほくFG CO₂排出量削減に向けFIT非化石証書を購入

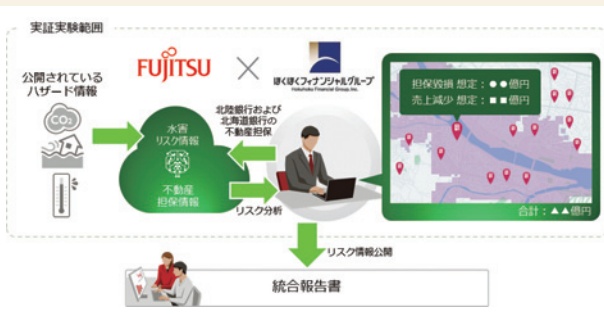
2022年6月、北陸銀行は北酸株式会社が提供する「FIT非化石証書の取次サービス(入札手続代行)」を活用し、カーボンニュートラルFIT非化石証書を購入しました。北酸の契約企業として第一号となりました。

また、北陸銀行および北海道銀行は、北酸とビジネスマッチング契約を締結しました。同サービスを通じて脱炭素化を進める取引先の支援を積極的に取り組んでまいります。

ほくほくFG TCFD開示に伴う業務の効率化

2022年7月、ほくほくフィナンシャルグループと富士通株式会社は、気候関連財務情報開示タスクフォースの提言に沿った情報開示を支援するアルゴリズムを開発しました。

本アルゴリズムは、取引先データと行政が発行しているハザードデータをひとつのマップ上に自動で配置し、水害発生時の取引先の物理的リスクを算出するもので、分析結果は、2022年7月発行のほくほくFGの統合報告書において活用されています。



北陸銀行 「カーボンニュートラルの推進に向けた連携協定」の締結および「ほくほくソーラーパーク」の建設

2022年10月、北陸銀行と北陸電力株式会社は、「カーボンニュートラルの推進に向けた連携に関する協定」を締結しました。本協定に基づく取り組みの第1号案件として、北陸電力グループの「太陽光発電 オフサイトPPA」を活用し、北陸銀行所有地に北陸電力グループが太陽光発電所「ほくほくソーラーパーク」を建設・運営し、発電する全ての電力を北陸銀行の店舗等に供給いたします。地方銀行の取り組みとしては、国内最大級のメガソーラー施設となります。



北陸銀行 富山大学へ遺贈寄付をサポート

2022年8月、国立大学法人富山大学と「遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」を締結し、富山大学へ遺言による寄付を希望する方に対して個別相談業務を開始しました。

北陸銀行は、お客さまの多様な相続ニーズにお応えするとともに、教育・研究の推進などを目的として2005年に富山大学と締結した「包括的連携協力に関する覚書」に基づく活動を通じて、産学連携による地方創生に取り組んでまいります。

北海道銀行 北海道産「山田錦」を使用した試験醸造酒の発表

北海道銀行は、道内の基幹産業である農業を支援するための専門部署「アグリビジネス推進室」を中心に、農業経営の課題解決の支援に取り組んでいます。

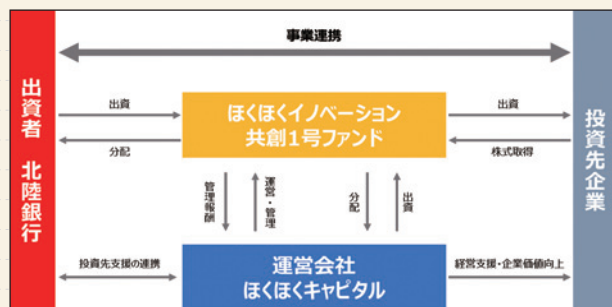
2022年7月、2016年より取り組みを支援してきました「道銀・酒米プロジェクト」について、山田錦を使った道内の酒造会社6社による試験醸造酒がそれぞれ一般販売されたことにより、発表会を開催しました。



北陸銀行 「ほくほくイノベーション共創1号ファンド」設立

2022年10月、北陸銀行とほくほくキャピタル株式会社は、先端的な技術やサービスを有するスタートアップ企業を支援する「ほくほくイノベーション共創1号ファンド」を設立しました。

本ファンドは、地域の将来を担う起業家の発掘や育成に加え、革新的な事業により成長が期待され株式公開を目指せる企業等を対象として、幅広いステージの企業に投資を行います。



地域における金融リテラシーの向上



北陸銀行 「ほくぎん投資信託WEBセミナー」開催

北陸銀行は「ほくぎん投資信託WEBセミナー」を開催しました。「世界経済と市場環境の見通し」や「過去を振り返り考える長期・積立・分散投資の重要性」等について、興味あるコンテンツを自由に選んで視聴できるよう15分程度の4つの演題を配信、ご興味あるものを自由に選択してご視聴いただくことで、お客さまの資産運用の一助となるよう、情報提供に努めました。



北海道銀行 「2022年度 夏休み親子で銀行体験」オンライン開催

2022年8月、北海道銀行は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点も踏まえ、「夏休み親子で銀行体験」をオンライン形式で開催しました。普段「銀行」に接する機会の少ない子ども達を対象に「職場体験動画」の視聴を通じて、広く金融経済教育を行うことを目的として、小学校の夏休みの時期に開催しており、北海道内各地の小学生に視聴いただきました。



健全で強靱な経営基盤の構築



北海道銀行 地域金融に関する新たな連携スキームの開始

2022年8月、北海道銀行寿都支店を岩内支店の店舗内店舗として移転するとともに、北海道信用金庫寿都支店内に共同窓口および北海道銀行ATMを設置、ならびに寿都郵便局内のゆうちょ銀行ATMを北海道銀行ATMと同じ手数料でご利用いただけるようにしました。

同様に、洞爺支店、中湧別支店についても、地域金融機関との連携スキームの開始を公表しております。

人口減少が続く地域においてはマーケットの縮小など何れの金融機関も同じ課題を抱えています。持続可能な地域金融機能維持に向けて、地域金融機関との連携も含め様々な可能性を検討してまいります。



すべてのお客さまにとっての利便性の向上



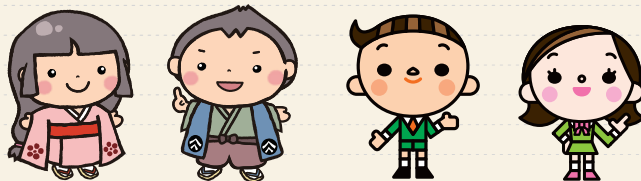
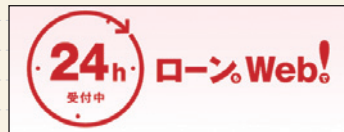
ほくほく FG 無担保ローン「WEB完結サービス」の取り扱いを開始

北陸銀行では2022年5月、北海道銀行では2022年9月に無担保ローン商品において、個人IBにマイカーローン等の無担保ローンの照会・繰り上げ返済機能を搭載した「WEB完結サービス」の取り扱いを開始しました。

「WEB完結サービス」では、ローンのお申し込みからご契約まで、インターネット上でお手続きが可能となります。ご来店や郵送

での契約書のやりとりを不要とし、ご契約手続きに要する日数の短縮やお客さまの利便性の向上を図ります。

当社グループは、今後もお客さまのニーズに幅広くお応えできる商品・サービスの提供に努めてまいります。



生産性向上に繋がる職場づくり



北陸銀行 「とやま女性活躍企業」の認定取得

2022年9月、北陸銀行は、女性が活躍する富山県内の企業等を県が認定する制度である「とやま女性活躍企業」の認定を受けました。引き続き、女性をはじめとする多様な人材のキャリア形成支援や、ワークライフバランス推進等に積極的に取り組んでまいります。



北海道銀行 「プラチナくるみん認定」の取得

2022年8月、北海道銀行は、子育てと仕事の両立や職員のキャリア継続支援のための取り組みに対して評価を受け、厚生労働省より「プラチナくるみん認定」を受けました。

北海道銀行は、「ダイバーシティ推進による多様な人材の確保と活用」を掲げ、引き続き、職員の多様な価値観への対応とワークライフバランスの充実に取り組んでまいります。



株主総会資料の電子提供制度について

1. 株主総会資料の電子提供制度

会社法の改正により、次回の株主総会(2023年6月開催予定)から株主総会資料の電子提供制度が開始され、これまで書面でご提供しておりました「株主総会招集ご通知」は、今後、当社ウェブサイト等に掲載する方法に変わります。なお、掲示するウェブサイトのURLや日時・場所等は株主総会を開催する都度書面にてご通知いたします。

2. 書面交付請求

引き続き「株主総会招集ご通知」を書面で受領されることを希望される株主様は、株主総会の基準日までにお手続きいただく、これまでどおり書面にてお受け取りいただけます。

〈書面交付請求のお申し出〉

お取引の証券会社、または当社株主名簿管理人(以下)にて所定のお手続きをお取りください。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行 証券代行部		
専用ダイヤル	0120-524-324	受付時間	平日9:00~17:00

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(プライム市場)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ

フリーダイヤル 0120-288-324

受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
支払明細の発行	みずほ信託銀行の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
------------	--------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2020年度	2021年度	2022年度 (予定)
35.0	35.0	35.0

普通株式配当につきましては中間配当を見送りとさせていただきます。また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7331
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行
経営企画部広報CSRグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7111
<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行
経営企画部広報CSR室
〒060-8676
札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel: 011-233-1005
<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブプリンキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。